

報 道 発 表 資 料

平成 22 年 11 月 5 日

気 象 庁

公開シンポジウム「大気海洋結合モデルが拓く長期予報新時代」の 開催について

気象庁は公開シンポジウム「大気海洋結合モデルが拓く長期予報新時代」を平成 22 年 12 月 8 日に開催します。シンポジウムでは、大気と海洋の数値シミュレーションによる季節予報に関して、国内外の専門家が最新の技術開発、科学的知見を紹介します。（同時通訳あり）

本会議は、海洋政策研究財団の平成 22 年度海外交流基金により実施します。

気象庁では、平成 22 年 2 月に大気と海洋を一体として予報する数値シミュレーションモデル（大気海洋結合モデル）を季節予報に導入しました。この機会に、季節予報の更なる精度向上を目指し、海洋政策研究財団の海外交流基金による国際交流事業として、国内外の長期予報モデルの第一線の開発者及び研究者を招聘し、大気海洋結合モデル開発の方向性を検討する国際会議を開催します（12 月 8 日（水）～10 日（金））。

本会議の一環として、季節予報に関する最新の技術開発、科学的知見を広く一般の方に知っていただくために公開シンポジウムを開催します。エルニーニョ現象等の大気と海洋の変動による影響の予測、最先端の季節予報システム、季節予報の応用利用、将来展望等について、国内外の専門家による講演を行います。

公開シンポジウム「大気海洋結合モデルが拓く長期予報新時代」

（詳細は別紙のとおり）

会 場： 気象庁 2F 講堂（東京都千代田区大手町 1-3-4）

日 時： 平成 22 年 12 月 8 日（水）14:00～17:20（13:30 開場）

参加方法： 当日会場にて受付（定員 200 名、事前登録不要、参加費無料）

本件に関する問い合わせ先： 気象庁地球環境・海洋部気候情報課

電話 03-3212-8341（内線 4224）

(別紙)

公開シンポジウム「大気海洋結合モデルが拓く長期予報新時代」

日 時： 2010 年 12 月 8 日（水） 14:00～17:20 （13:30 開場）

会 場： 気象庁 2F 講堂（東京都千代田区大手町 1-3-4）

参加方法： 当日会場にて受付（定員 200 名、事前登録不要）

参 加 費： 無料

講演：

○『季節予報と数値予報モデル』

Adam Scaife 博士（英国気象局 季節から 10 年規模予測グループ長）

○『大気海洋結合モデルによる季節予報の改善』

前田 修平 予報官（気象庁地球環境・海洋部気候情報課）

○『欧州中期予報センターにおける季節予報システムの開発』

Roberto Buizza 博士（欧州中期予報センター 診断・予測可能性
セクション長）

○『長期予報の未来』

木本 昌秀 教授（東京大学大気海洋研究所 副所長）

（同時通訳あり）